

黒人研究会会報

Japan Black Studies Association Newsletter No.72 (March 30, 2011)

第72号 2011年3月30日

例会発表要旨

7月例会 2010年7月10日 キャンパスプラザ京都

青い「デジャ・ビュー」 — 映画Avatarの世界を探る —

赤尾 千波

SF映画『アバター』(2009)をとりあげ、映画を視聴しつつ惑星「パンドラ」の自然とパンドラの原住民、ナヴィ族のイメージについて検証した。また、撮影の新技术とされる performance capture (パフォーマンス・キャプチャー) について考察した。

この映画の自然描写とナヴィ族の描写に共通するのは、従来の映画や小説に登場した様々な要素と現実世界の事物を混ぜ合わせているということである。多くの人が、この作品に既視(デジャ・ビュー)感を覚えるのはそのためであろう。特に、パンドラの自然には、世界各地に実在する動・植物や海洋生物を混ぜ合わせたようなものが多い。ジブリ・アニメを連想させる景色もあり、一種独特の雰囲気といえよう。

ナヴィ族に関しても、姿、言語、そして白人男性の主人公 Jake Sullyとの関わり方にいたるまで「どこかで見た」感じがする。従来の映画や小説で使い古された黒人ステレオタイ

プやアメリカ・インディアンのイメージの合成であり、「パフォーマンス・キャプチャーによるリアリティの演出」というのはさほどの効果をあげていないと思われる。

発表のあと、参加者から数多くのコメントが寄せられた。例えばアバターは、インドの「アバターラ」を連想させるなどである。口頭発表にDVD視聴を盛り込むことは極めて有益であると感じた。皆さんありがとうございました。

10月例会 2010年10月23日 キャンパスプラザ京都

インド文学の魅力

加藤 恒彦

この報告では、①ブラック・ブリティッシュ文学からどのように英語によるインド文学へ私の関心が展開することになったのかを明らかにするとともに、②Booker賞に占めるインド、パキスタン系の作家の80年代以降の目覚ましい活躍を紹介し、③最近私が読んできたインド人として英語で文学作品を発表している作家たちの作品をいくつか紹介した。報告で取り上げた作家や作品は：1) A Suitable Boy by Vikram Seth, 1993. 2) A Fine Balance by Rohinton Mistry, 1995. 3) Glass Palace by Amitav Ghosh, 2000. などであった。最後に現在のインド大阪総領事であり、映画『スラムドッグ・ミリオネア』の原作者でもあるVikasa Swarup氏とのインド文学についての私が行ったインタビューも紹介した。

11月例会 2010年11月27日 神戸市外国語大学

路上のレスペクタビリティー — 写真で見る反リンチ運動(1930-40年代)

坂下 史子

反リンチ運動を扱ったこれまでの研究の考察対象は、アイダ・B・ウェルズら著名な指導者の活動や、NAACP、ASWPL(南部女性リンチ防止協会)、共産党系団体の活動、反リンチ州法・連邦法案の審議過程、リンチを主題とした文学作品などが主であった。こうした先行研究をふまえ、本報告では1930~40年代に行われたアフリカ系アメリカ人による様々な路上の反リンチ運動(募金集め、デモ行進、ピケなど)を、現存する当時の写真を手がかりに分析した。この時期、反リンチ連邦法案の制定を目指すNAACP主導のロビー活動は全盛

を迎えていた。法案は結局通過しなかったが、このような世論の盛り上がりを実現したのは、NAACP、NACW(全国黒人女性協会)のメンバーや、ハーワード大学生をはじめとした若者による地道な草の根の活動であった。これらの路上の活動家たちは、旗や看板、絞首具を模した縄などを用いて、また時には自身の身体を通してリンチ犠牲者を表象し、リンチ犯罪の看過に警鐘を鳴らし続けた。

なかでも注目すべきは、彼らの活動に見られる「レスペクタビリティの政治」(Politics of Respectability)である。歴史家エヴリン・ブルックス・ヒギンボウサムが1993年の著作のなかで理論化したこの概念は、黒人女性への否定的なイメージを打破するためにエリート・中産階級の黒人女性が用いた戦略のことを指すが、やがて黒人男性による同様の戦略の呼称としても適用されるようになる。路上の活動家たちの豪奢ではないが質実で品のある装いや毅然とした立ち居振る舞いは、実際の抗議内容と同様またはそれ以上に、リンチの言説における「レイプ犯」の黒人男性像と、レイプ犯蔓延の遠因とされた「性的にだらしない」黒人女性像という負のイメージに対する意義申し立てとして機能した。彼らは、性犯罪者処罰の名目で行われたリンチという「見せ物」に対抗する見せ物(counter-spectacle)を創出することでリンチの言説を反駁し、犠牲者および自身の尊厳を守ったのである。

12月例会 2010年12月10日 キャンパスプラザ京都

The Problem of the Centuries: A Contemporary Elaboration of “The Present Outlook for the Dark Races of Mankind” circa the 27th of December 1899

Nahum Chandler (ネイアム・チャンドラー)

本発表はネイアム・チャンドラー会員(University of California, Berkeley)による、W・E・B・デュボイスの思想と行動を、デュボイスのアジアや日本との関わりを含めて論じるものであった。

デュボイスの人種問題に関する先見性とその特徴や意義を、1936年の満洲や日本への訪問に関わる写真(そのほか中国やガーナなど数多くの写真など)を見せながら論じた。本発表は、デュボイス研究においてもグローバルな視点やアプローチの重要性を再認識させられるものであった。なお、本発表の内容は、チャンドラー会員の近刊The Problem of Pure Being: Annotations on the Early Thought of W. E. B. Du Bois and the Discourses of the Negro. で、より詳しく述べられるとのことである。

(文責・古川 哲史)

2月例会 2010年2月26日 立命館大学

奴隷制の歴史に向き合い始めたオランダ –アムステルダムを中心とした報告

光森 幸子

2001年、南アフリカ共和国のダーバンで開催された国連人種差別廃絶会議で、オランダは奴隷制に対し深い遺憾の念を表し、2002年7月1日、アムステルダムの東公園にて、現元首ベアトリックス女王がオランダ奴隷制の歴史を記念した国定記念碑の除幕式を行った。記念碑は、スリナムの首都パラマリボ出身の画家・彫刻家である、アーウィン・デ・フリース (Erwin de Vries) のデザインに拠る。今回の報告は、この記念碑建立までの経緯を辿り、近年のオランダの変化を2003年7月1日、オランダ奴隷制廃止140周年記念日にオープンしたNiNsee (ニンサー) 国立研究所の活動から明らかにすることに焦点を絞った。

オランダが連邦共和国として17・18世紀の大航海時代に発展し、経済的繁栄と富を築き、学問・芸術の隆盛を実現させ、ヨーロッパ随一の先進国となった背景にはその奴隷貿易と奴隷制度があるが、最近まで奴隷主の子孫は無関心を装い、奴隷の子孫は沈黙を強いられてきた。しかし、1975年にスリナムがオランダから独立し、増加するスリナムやオランダ領アンティル諸島からのアフリカ系カリブ移民の声と彼等の歴史はオランダ社会の中で無視できないものになった。NiNseeは、「オランダ奴隷制の遺産を共有し、全てのオランダ人の共同の未来の為のシンボルになること」を使命とし、教育、博物館、研究、記録資料の4つの領域に携わることを謳っている。この研究所が組織する、2002年から開始されたケティコティ (「破られた鎖」の意) というオランダ奴隷制廃止を祝うフェスティバルも、年々広く知られるようになり、来場者数も2万人規模になっている。

しかし、オランダ市民全体の奴隷制の歴史認識については努力と啓発がまだまだ必要であるとNiNseeは認識し、また大西洋奴隷貿易と奴隷制を中心に扱うという目的から、オランダ東インド会社が関わったインドネシア諸島での奴隷制に関する展示の予定も当面は無いという。1863年の奴隷制廃止後に、スリナム社会の底辺に組み込まれていった、インドネシア諸島からの契約労働者への言及も印刷物に極僅かである。

今後も、奴隷制の歴史をオランダ史の中に位置付けるよう歩み出したオランダについて、オランダ社会の動向を体現しているといえるNiNseeの活動・変化に注目し、他の欧州諸国の動向とも比較しながら考察する必要性があると考えている。

会員からの投稿

山田裕康君を偲んで

小林 信次郎

黒人研究の会に山田君が颯爽と登場したのは1971年6月発行の「黒人研究」第41号の書評である。タイプ印刷から活版印刷になった記念すべき号の編集を任されていたので、本会に入ったばかりの青年の書評本多勝一著『アメリカ合州国』は特に念入りに読ませてもらった。評者はこのルポルタージュが長期にわたってアメリカに内在する差別問題を中心にして国名の英語を「合衆国」とすることに再考を促すと読み取って、警告に満ちた快著だと結論づけた。論旨も文章構成も評価も十分納得のできるもので、いわゆる大学紛争の余波と大不況の影響もあって研究会の活動がとどろりがちな時に有望な若者が入会してくれたものだと喜んだものである。

山田君は入会后ほどなく本会の雑務にも尽力し会計係や、新たに始まった会員間の相互連絡や情報交換等を目的とする会報係を担当した。興味関心を示す分野は黒人の文化全般だが、同時代の音楽と詩に取り組んだ。換言すればブルースやゴスペルと黒人女性詩人達とである。月例会、会報および会誌で積極的に活動するのみならず1976年には「Somethin' Else」というタイトルの小冊子の雑誌を創刊した。「Somethin' Else」は「ブラックの詩人の歌声を聴く広場にしたい」と創刊号に宣言されており、手元にある1、2号のみでもそれぞれニッキ・ジョヴァニを核とするバラカやヒューズ以降の新しい9本の詩とその解説及び詩の朗読レコード・レヴューとを掲載する魅力的な冊子になっている。1977年大阪経済大学の助手(英語)に就任し、その後の昇進も順調であったと伺える。

山田裕康君は40有余年の黒人研究生活の間に残した論文、評論、翻訳等は数多く全部を網羅できる訳もない。こと単行本となると比較的まとめやすく、主要作品は次の7冊であろう。

(1)アレクシス・デヴォー『言いわけしないで』(共訳1988年) (2)ベッシー・ヘッド他『女が集まる 南アフリカに生きる』(共訳1990年) (3)アンソニー・ヘクルバッド『ゴスペル・サウンド』(共訳1993年) (4)レナード・E・パレットSr『ラスタファリアンズ レゲエを生んだ思想』(1996年) (5)モンガン・セローテ『生まれてくるものたちへ』(単訳1998年) (6)加藤恒彦他編『世界の黒人文学—アフリカ・カリブ・アメリカ』(共著2000年) (7)風呂本淳子編『アメリカ文学とニューオーリンズ』(共著2001年)

上記の7冊は一見筆者もテーマも地域もバラバラのようだが編者を除く筆者はアフリカのディアスポラであり、テーマは詩か音楽である。例えば(1)は筆者自身がアメリカの詩人であり、(2)

編著者は南アフリカの黒人女性作家であるが多くの詩人達の作品が収録されている。(6)では「Somethin' Else」でも中心に取り上げられていたニッキ、アミリ、ソニア等アメリカの黒人詩人達を担当している。これらの仕事を通じて注目されるのは一貫して現代の黒人音楽と詩人達の作品が対象となり、地域もアメリカからカリブ、アフリカと広がっていることであろう。

本会への貢献も多々あり2000年代は主として企画担当であった。最も印象深いのは創立40周年記念国際大会(1994年6月24日～26日)での舞台裏での献身的な協力である。会期3日の中日の夜は詩朗読と黒人音楽祭が挙行され、南アの詩人トーマス・カンサとソマリア人のアハメッド両氏が自作の詩の朗読を行うことになっていた。カンサ氏の朗読用の詩とその日本語訳は事前に用意されていたがアハメッド氏の資料は届いていず、当日の朝になってやっと英語の元原稿が入手できた。この英語の詩もカンサ氏と同様にその日本語訳と共に印刷物を用意しなければと思いつつ、山田君に相談してみた。元原稿をみるとあまり時間をとらずに自ら引き受けてくれたのであった。別室にこもるとたっぷり時間を取り印刷には当然人手も借りて、夕方の朗読時間のかなり前には大ホールの受付に日本語訳付きの資料が並べられたのであった。大会実行委員長としても深く謝意を感じた。それと同時に山田君の本会へのコミットの強さや同時代の黒人詩へ思い入りの強さが象徴的に示される営為だと考えたものである。

山田君の黒人の詩と音楽を中心とする文化の研究の深化、拡大ならびに発表のピークは40歳代換言すれば1990年代であったのではなかろうか。先に箇条書きにしたように90年代は単行本の出版はほぼ2年に1冊の高いペースであったが2000年代を迎えるとブレーキがかかり、逝去の2010年7月までの10年間は実質的に単行本の出版は無かったと推測している。その最大の理由は教育と研究以外の仕事が多すぎたからではなかろうか。山田君は優秀で人気も抜群だったようで選挙で選ばれる役職も多いのに2000年代に歴任した役職を知っている範囲で並べてみると、広報委員長、学生委員長、人間科学部長、大阪経済大学評議員さらには同理事という多彩さで、残るは学長職のみではなかろうか思わせるほどの多忙ぶりであった。

昨年(2019年)の年賀状には少しは研究生活に戻る云々と添え書きしてあったので6月末の沖縄国際大学での全国大会では会えるものと期待していた。珍しく不参加であったが職場の方で手が離せないのであろうと高をくくっていた。ところが後で分かったことだが末期の癌で学会どころでは無かったのである。それでも仕事熱心で講義の数は減らしても続行していた。7月11日所用で日曜出勤したときにはさすがに学内でも驚いたり、失礼にならない

ていどに諫める声が聞こえたそうである。本人はよほど体力に自信があったのであろう。無情にも2日後の2010年7月13日山田裕康さんは旅立ってしまった。享年62歳であった。ご母堂と妹さんを残し、仕事も残し、夢も残して往ってしまった。大経大の定年は70歳だそうだからその4.5年前に退職してニューヨークに渡ってゆっくりと黒人音楽を楽しむのだとかねがね家族に夢を語っていたそうである。いよいよ第二の人生のスタートも近く、ニューヨークへの希望を準備し始める時期にきていた。その時の急逝だから本人はもとより誰しも無念の極みであったろう。職場でも哀惜の情深く年末にはには追悼会が開かれて、山田君がこよなく愛し研究のテーマの1つにしていたゴスペルが歌われた。いまごろは「千の風」となって世界中の黒人の歌を求めての大旅行のとちゅうかも分からない。

(顧問・大阪工業大学名誉教授)

山田裕康さんと一緒に翻訳の仕事をして

楠瀬 佳子

山田さんは詩人だった。もう20年も前のことだが、『女が集まる——南アフリカに生きる』(現代企画室、1990年)という本を共訳で出版したことがある。ちょうど南アフリカがアパルトヘイトを終え、新しい時代を迎えようとする変革期だった。この作品に集まってきた女たちの声は、どれも納得のいくものだった。大小さまざまな闘いをくぐり抜けた女たちの偽りのない真摯な声に私たちは耳を傾けた。

とくに、山田さんは、一つひとつの言葉を英語から日本語に移し変えるときに、慎重で、心に響く言葉を選びとっていた。何度も作品の背景になる状況について話しあい、それぞれの作家の声に耳をすまそうとした。時には理解のずれに激しい苛立ちを感じたり、いい争いをしたこともあった。山田さんは、中途半端な妥協は許さず、ぴったりとした言葉が生まれてくるまで辛抱強く待った。とくに、山田さんが担当した冒頭の詩の訳は圧巻だったので、私たちは即座にこの本のタイトルを『女が集まる』とし、この屈託のない女たちの笑い声を読者に届けたいと思った。

「女が集まる」 L・ブライヤー 女が集まる ようやく屈託のない態度で 話せるようになった姉妹(シスター)たち わたしたちがどれだけ笑うかを知って あんたはきつと仰天

言葉が発する深い意味を探ろうとする山田さんの姿勢から、私は多くを学ばせていただいただけでなく、共同作業の面白さも同時に教えてもらった。自由と人権を尊重しようとした山田さんとは、南アフリカのことをもっともっと話したかったのに。もう会えないのは寂しい。ご冥福をお祈りします。

黒人文庫へのブルース関係の図書等の寄贈について

小林 信次郎

故山田裕康氏のご遺族から、故人の蔵書を神戸市外国語大学図書館の黒人文庫への寄贈の申し出があった。その元館長でもあった赤松光雄先生を通じて図書館側と相談してもらった結果、書棚は満杯状態だが専門書で図書館側に未納の書籍類のみ収納できるとの嬉しい答えがもらえた。山田君の専門を考えると黒人の詩と音楽が多かろうと予想はできるが、具体的なことは実物を見てからになった。赤松先生と一緒に書齋を見せてもらうことにしていた。

その後、蔵書の仕分けに松野潔子さんも加わってもらえた。松野さんは山田君との共訳書もあるから強力な助っ人がえられて幸運であった。2010年8月29日、京都の山田君宅に着いて先ず驚いたのは図書類の多さであった。集合住宅の1戸がまるまる書齋になって図書類に溢れてあった。アメリカ、カリブ、アフリカの黒人文学や音楽関係は、いろいろのジャンルのものが洋書も和書も積み重ねられてあった。その上、山積みされた段ボールにも書籍が入っているという状態であった。さらにはフロアの本棚のまえにはレコードやCDが並べられてあった。ひととおり見て回ったところで赤松先生は、貴重な資料に溢れているがこここのところはブルース関係の洋書とCDのみ選びだして黒人文庫へ届けるのがよいようだとご遺族に提案されて、3人で手分けして取りかかった。

単にブルース関係のみ選べばことはすむと考えていたが、実際に始めてみると大変であった。英語のタイトルの中にBLUESの単語があるとしめたと思って確認を求めるとブルースでなかったり、ブルースのCDをクラシックと取り違えたりすることもあった。いずれにしても1日ではとても終わらず、後日2、3回新たにでてきた資料を遺族から郵送をしてもらって、赤松先生と共に外大の図書館に届けたのが下記の資料(1. 図書 85冊 2. CD・VHS ビデオ 97点)である。調べてもらうと、図書館にはブルース関係は洋書もCDも殆ど入ってなかった。欠落部分が補えて良かった。そのうえ広く活用されれば、彼方でも山田君はあの人なつっこい笑顔を浮かべてくれるであろう。

1. 図書
2. CD・VHS ビデオ

寄贈された額



図書館に納まった図書



故山田裕康先生 神戸市外国語大学学術情報センター(図書館)
寄贈資料リスト

1. 図書

書名	巻号	版
1 アーバン・ブルース		
2 ザ・ブルース・ブック	Vol.2	
3 ブルース		
4 ブルースに焦がれて		
5 ブルーズの世界		
6 箱舟、21世紀に向けて: 黒人文化とわれわれ		
7 All music guide to the blues: the experts' guide to the best blues recordings		2 nd ed
8 American roots music		
9 America's Black musical heritage		: pbk.
10 Bessie		
11 The best of the blues: the 101 essential albums		
12 Big star fallin' mama: five women in Black music		Rev. ed
13 The Billie Holiday companion: seven decades of commentary		: pbk
14 Black American music: past and present		
15 Black magic: a pictorial history of the African-American in the performing arts		
16 Black musical theatre: from Coontown to Dreamgirls		
17 Black popular music in America: from the spirituals, minstrels, and ragtime to soul, disco, and hip-hop		
18 Blues & the poetic spirit		
19 The blues: a bibliographical guide		
20 Blues: an anthology: complete words and music of 53 great songs		
21 The Blues: in images and interviews		
22 The blues alive: the timeless tradition		: pbk
23 Blues fell this morning: meaning in the blues		: pbk 2 nd ed
24 Blues fell this morning: meaning in the blues		: pbk Canto ed
25 Blues for dummies		
26 Blues from the delta		: pbk
27 The Blues Highway: New Orleans to Chicago: a travel and music guide		: pbk

- 28 Blues legends
- 29 The Blues line: a collection of blues lyrics
- 30 The blues makers
- 31 Blues off the record: thirty years of blues commentary pbk
- 32 The blues route 1st ed
- 33 Blues travelling: the holy sites of delta blues : pbk
- 34 Blues who's who: a biographical dictionary of blues singers
- 35 The bluesman: the musical heritage of Black men and women in the Americas
: pbk
- 36 The bluesmen: the story and the music of the men who made the blues
: pbk
- 37 The book of the blues
- 38 Chasin' that devil music: searching for the blues
- 39 Chicago blues: the city & the music
- 40 The country blues
- 41 The country blues guitar
- 42 Cousin Joe: blues from New Orleans
- 43 Dead man blues: Jelly Roll Morton way out West : cloth
- 44 The Devil's music: a history of the blues 2nd ed.,
updated
- 45 The Devil's music: a history of the blues
- 46 Downhome blues lyrics: an anthology from the post – World War II era
: pbk 2nd ed
- 47 Early blues songbook: a collection of early blues in words and music
- 48 The encyclopedia of jazz (Completely
revised.
- 49 Encyclopedia of the blues : pbk
- 50 Escaping the delta: Robert Johnson and the invention of the blues
- 51 Extension of the blues : U.S.: est.
- 52 Father of the blues: an autobiography
- 53 From blues to rock: an analytical history of pop music
- 54 The Guinness who's who of blues 2nd ed
- 55 The history of the blues : hbk
- 56 I am the blues: the Willie Dixon story
- 57 In search of Buddy Bolden: first man of jazz

- 58 Jelly Roll Morton's last night at the Jungle Inn : pbk
- 59 Josh White: society blues
- 60 King of the Delta blues: the life and music of Charlie Patton
- 61 The land where the blues began 1st ed
- 62 The legacy of the blues: a glimpse into the art and the lives of twelve great bluesmen: an informal study 1st American ed.
- 63 Listen to the blues : pbk
- 64 Looking up at down: the emergence of blues culture
- 65 Lost Delta found: rediscovering the Fisk University-Library of Congress Coahoma County study, 1941 – 1942
- 66 Martin Scorsese presents the blues: a musical journey 1st ed
- 67 Mister Jelly Roll
- 68 The music of black Americans: a history : hbk 3rd ed
- 69 Negro folk music U.S.A. : pbk
- 70 Negro folk music, U.S.A cloth
- 71 The poetry of the blues
- 72 Race music: black cultures from bebop to hip-hop : pbk
- 73 Readings in Black American music : pbk. 2nd ed
- 74 Really the blues
- 75 Roots of soul: the psychology of Black expressiveness
- 76 The roots of the blues: an African search
- 77 Screening the blues: aspects of the blues tradition
- 78 Searching for Robert Johnson
- 79 Soul music: who's who : pbk
- 80 The spirituals and the blues: an interpretation : pbk
- 81 Stomping the blues : pbk
- 82 Texas blues
- 83 The voice of the blues: classic interviews from Living blues magazine
- 84 Wake up dead man: hard labor and southern blues
- 85 Write me a few of your lines: a blues reader : pbk

2. CD ・ VHS ビデオ

タイトル	アーティスト	レーベ
1 Africa and the Blues – Connections and Reconnections	Neatwork	2001
2 Avalon Blues : A Tribute to the Music of Mississippi John Hurt	Vanguard Records	2001
3 African Angels	Amiata Records	1997
4 Basie Swings Standards	Count Basie Pablo	2009
5 The Beauty Of The Blues: Roots 'N' Blues Sampler	Sony	1991
6 Better Boot That Thing: 20's Women Blues Singers	Hunter / Tucker/ Spivey / Mack	RCA 1992
7 Before The Blues: The Early American Black Music Scene, Vol. 1	Before The Blues	Yazoo 1996
8 Best of Lee Morgan	Lee Morgan	Blue Note Records 1988
9 Best of Muddy Waters	Muddy Waters	Mca 1987
10 The Best of Louisiana Music: Over 60 Minutes of the Best Mardi Gras Party Music! Umgd		Rounder / 1993
11 Big Bill Broonzy	Big Bill Broonzy	damusic
12 Birth of Rhythm & Blues		Golden Stars 2006
13 Born for You	Rockie Charles	Orleans 1996
14 Boom Boom [Extra tracks, Original recording remastered]	John Lee Hooker	Shout Factory 1992
15 Bluesman Guitar Evangelist Folksinger	Josh White	Phantom Sound & 2007
16 Bandera Blues and Gospel	Bandera Blues and Gospel	Ace Records UK 2004
17 Blues & More 1	Henry Butler	Windham Hill Records 1992
18 Blues Masters 10		Rhino / Wea 1993

19	Blues Routes: Heroes & Tricksters		Smithsonian	1999
			Folkways	
20	This Is the Blues Harmonica		Delmark	2000
21	Blues of Robert Johnson		Easydisc	1997
22	Alan Lomax: Blues Songbook	Alan Lomax	Rounder	2003
			Select	
23	The Complete Plantation Recordings	Muddy Waters	Chess	1993
24	Charley Patton The complete recorded works	Charley Patton	Blues interactions	1992
25	Live Experience 1999	Canton Spirituals	Sbme	1999
			Special Mkts	
26	Chicago Blues: A Quarter Century [3 DISC SET]		Blues	2008
			Interactions	
27	When the Sun Goes Down 3: That's Chicago's South Side		RCA Victor	2002
			Europe	
28	Bessie Smith: The Complete Recordings, Vol. 1	Bessie Smith	Sony music	1991
			Entertainment	
29	Crow Jane Blues	Carl Martin	Testament	1999
30	Rough Guide to Chicago Blues		World Music	2003
			Network	
31	Classic Blues From Smithsonian Folkways		Smithsonian	2003
			Folkways	
32	Country Blues	John Lee Hooker	Obc	1991
33	Early Shaker Spirituals	Sister R. Mildred	Rounder	1996
		Barker	Select	
34	Ethel Waters 1925 to 1926	Ethel Waters	Allegro	1998
			Corporation	
35	Free & Equal Blues	Josh White	Smithsonian	1998
			Folkways	
36	Folk, Gospel & Blues: Will the Circle Be Unbroken		Sony	1999
37	I Brought Him With Me	Blind Boys of Alabama	House of Blues	1995
38	I Can't Be Satisfied 2		Yazoo	1997
39	The Ink Spots – The Greatest Hits	Ink Spots	Mca	1989

[MCA]

40	Martin Scorsese Presents The Blues	Keb' Mo'	Sony	2003
41	In His Prime	Furry Lewis	Yazoo	1991
42	King of the Delta Blues	Charlie Patton	Yazoo	1991
43	Ladies Sing The Blues: Mercury Records 1945 – 1957	Va – Mercury Records	Polygram Records	1997
44	Long Lonesome Day Blues	Texas Alexander	P–Vine	1997
45	Live at the Hot Club	Memphis Slim	Milan Records	1994
46	Historical Blues Sessions 1	Sun House& Charley Patton	P–Vine Japan	2003
47	Lightnin' Hopkin	Lightnin' Hopkin	Virgin Records	2003
48	Live at Newport	John Lee Hooker	Vanguard Records	2002
49	Land Where the Blues Began		Rounder Select	2002
50	Ma Rainey's Black Bottom (Original Broadway Cast Recording)		Angel Records	2003
51	Steakbone Slide Guitar	Fred McDowell	Tradition Records	1996
52	Do Not Play No Rock N Roll	Fred McDowell	Varese Sarabande	2001
53	Early American Blues Classics		Yazoo	1994
54	Mississippi String Bands 2		County Records	1998
55	Muddy Waters – More Real Folk Blues	Muddy Waters	MCA	1994
56	Muddy Waters Blues Band	Muddy Waters, Dizzy Gillespie	LRC Ltd.	1996
57	Negro Blues & Hollers		Rounder Select	1997
58	Negro Prison Blues & Songs	Alan Lomax	Legacy	1994
59	Blues & News		Sony	1990
60	Complete Recorded Works, Vol. 1	Norfolk Jazz &	Document	1995

	Jubilee Quartets		
61	Original	Sonny Terry, Brownie McGhee	Tkc Collectors 1996
62	Trouble in Mind – Original Blues Standards		Indigo UK 1998
63	Peter Was a Fisherman: The 1939 Trinidad Field Recordings of Melville and Frances Herskovitz. Vol. 1		Rounder Select 1998
64	Prison Blues of the South		Delta 1994
65	Red Hot Peppers, New Orleans Jazzmen & Trios	Jelly Roll Morton	Giants of Jazz 1990
66	Borders Presents the Best of Blues on Chess Records		Universal Music 2000
67	Josh White – The Remaining Titles (1941 – 1947)	Josh White	Document Records 1998
68	Scott Joplin & Age of Ragtime		Life Times & Music 1996
69	Slide Guitar Classics	Tampa Red	P-Vine Japan / Zoom 1998
70	Sacred Steel: Traditional Sacred African-American Steel Guitar		Arhoolie Records 1997
71	Senor Blues	Taj Mahal	Sbme Special Mkts. 1997
72	Crossroads, Southern Routes: Music of The American South		Smithsonian Folkways 1996
73	Rising Sons	Cooder, Taj Mahal, Rising Songs	Sbme Special Mkts 1992
74	Steppin on the Blues	Lonnie Johnson	Sony 1990
75	Southern Journey, Vol. 3: 61Highway Mississippi – Delta Country Blues, Spirituals, Work Songs & Dance Music		Rounder Select 1997
76	Southern Journey, Vol. 6: Sheep, Sheep, Don'tcha Know The Road? – Southern Music, Sacred And Sinful		Rounder Select 1997
77	Southern Journey, Vol. 12: Georgia Sea Islands – Biblical Songs And Spirituals		Rounder Select 1998

78	Southern Journey, V. 13: Earliest Times – Georgia Sea Island Songs for Everyday Living		Rounder	1998
79	The story of pre war blues		Blues interactions	1994
80	Times Ain't Like They Used to: Early American Rural Music		Shanachie	1997
81	Uncle Charlie and His Dog Teddy	Nitty Gritty Dirt Band	東芝EMI	1998
82	Unsung Blues Legend: The living Room Session	Lonnie Johnson	Music Magnet	2000
83	Trouble in Mind 1935 – 1941	Georgia White	EPM	1995
84	Trouble in Mind: Kind Curtis Sings the Blues	King Curtis	Fantasy	1992
85	Violin, Sing The Blues For Me: African- American Fiddlers 1926 – 1949		Old Hat	1999
86	Kansas City Blues 1924 – 1929: The Complete Recorded Works of Lottie Beaman Kimbrough, Winston Holms & Charlie		Document Rrcords	[1992]
87	Leroy Carr: Complete Recorded Works in Chronological Order Vol. 4(1932 – 1934)	Leroy Carr	Document Records	[1992]
88	Lillian Glinn: Complete Recorded Works in Chronological Order 1927 – 1929	Lillian Glinn	Document Records	[1993]
89	Ma Rainey: Complete Recorded Works in Chronological Order Vol. 2(c.15 October to c. August 1925)	Ma Rainey	Document Records	[1993]
90	Mississippi Sheiks: Complete Recorded Works in Chronological Order Vol. 1 (17 February to 12 June 1930)	Mississippi Sheiks	Document Records	[1991]
91	Sara Martin in Chronological Order Vol. 2 (c.12 July 1923 to 19 March 1924)	Sara Martin	Document Records	[1995]
92	Sinners And Saints (1926 – 1931)		Document Records	[1992]
93	Skip James: Complete 1931 Recordings in Chronological Order	Skip James	Document Records	[1990]
94	Warming By The Devil's Fire: Martin Scorsese Presents The Blues		Sony	2003

- | | | | | |
|----|---|---|-----------|------|
| 95 | Mean Old World & Born in the Blues
[VHS] | Rev. Pearly Brown
/ Arthur "Big Boy" | Shanachie | 1995 |
| 96 | Legends of Country Blues Guitar:
Vol. 2 [VHS] | | Vestapol | 1994 |
| 97 | The Blues Accordin' to Lightnin' Hopkins
[VHS] | Lightnin' Hopkins | P-Vine | |

計

97点

(神戸市外大図書館のリスト通り掲載)

入 会 者

大橋 千秋(おおはし ちあき) 氏

所属：梅花女子大学 文化表現学部 (国際英語学科教授)

自己紹介：会員の皆様、初めまして。現役最後の10年余りの年月をどう過ごすべきか、と最近よく考えます。私は一つ目の修士論文をフォークナーで、二つ目のそれを社会言語学で書きました。ここまできたら関心の領域を狭く限ってしまうことなく、いろいろなことに手を広げようと思っています。この会にどれほどの貢献ができるかといえば大変心許ない限りですが、少しでもお役に立てるよう、頑張りたいと思います。よろしく願いいたします。

Marty Bracey (マーティ・ブレイシー) 氏

職業：プロミュージシャン・音楽講師・イベントプロデューサー

自己紹介：シカゴ生まれ。ドラマーとして全米で活動後、1973年来日。1980年もんだ&ブラザーズのメンバーとなり、その後オメガドライブ、本田美奈子、CHAR、高石ともや等のジャンルを超えたアーティストと共演。現在も音楽活動をする傍ら、BBCびわ湖放送の番組「きらめきマイスター」のメインMCとして、レギュラー出演中。このように、日本でエンターテインメントの世界に長く身をおく中で、以前からアフロアメリカンの文化を日本に紹介し、さらには相互交流を目標にしてきました。当研究会にて、その実現のための情報収集ができればと考えています。よろしく願いいたします。

Garcia Chambers (ガルシア・チェインバーズ) 氏

所属：白百合女子大学／多摩大学

自己紹介:I am a Jamaican living and teaching English and Culture here in Japan. I have particular interest in introducing Caribbean culture(s) to Japanese university students. Also, I am interested in doing cross-cultural studies between Japan and the Caribbean focusing specifically on “ ambiguity, ambivalence, and open-endedness as cultural lenses through which social harmony and order in daily life can be explained and understood.” With clearly different historical backgrounds the differences between both cultures are many and quite significant. The question that will therefore guide this study is: what, if any, are the salient points of similarity between Japan and the Caribbean’s cultural ‘ambiguity’, ‘ambivalence’ and ‘open-endedness’? The approach I am inclined to take will be qualitatively oriented: including surveying, reading and re-reading various literatures, including novels, poetry, scholarly works, and newspapers. Other areas of interests are creolisation, hybridity, cultural identity, intercultural communication, and chaos theory.

(順不同)

退 会 者

石田 依子 氏

訃 報

山田 裕康 氏

大阪経済大学教授。長年にわたり会員、そして役員として会の活動に貢献頂きました。病のため

2010年7月13日逝去。61歳。

編集後記

2008年11月5日午前5時、アフリカ、カメルーンの小さなホテルに「ワァー」という歓声が響き渡った。第44代アメリカ大統領にバラク・オバマ氏が決まった瞬間である。私はアフリカ・カリブ文学会出席のため、そのホテルに泊まっていたのだが、何事が起こったのかと一階ホールへ行ってみると、アメリカから来ていた教授や学生たちがひとつのテレビを囲んでいたのである。彼・彼女たちは徹夜で大統領選挙の報道を見ていたようであり、一緒にオバマ氏の勝利演説を聞いていると、自然と私の頬にも涙が流れた。隣の席にいた先生に「日本人のあなたが彼の勝利を喜んでくれることに感謝する」と言われ、共に抱き合って喜んだことは忘れられない。オバマ氏が大統領になることをどれほどの多くの人々が望み、彼の実行する政策にどれほどの期待をかけたことか計り知れない。現在、中東の国々は民主化運動により独裁政権が次々と倒れるか、もしくは内戦状態となっている。「自由・平等」をスローガンに掲げる国の初のアフリカ系大統領がどのような対応をとるのか、世界中の人々が注目している。このような時期に遭遇し、会員皆さまによる新しい視点からの発表や投稿を会報に載せることができると願っている。

昨年夏、山田裕康先生ご逝去の知らせに我が耳を疑った。お会いする時はいつもお元気そうでニコニコしながらお話を下さっていたのに。小林信次郎先生、赤松光雄先生、松野潔子先生の多大なるご尽力で、故人ご自宅の蔵書が神戸市外国語大学の黒人文庫に納められることとなった。ブルーズを研究する方々の研究に寄与できれば誰よりも山田先生が喜んでくださることだろう。また近日中に先生の大学研究室に残っている蔵書が整理され、次号の会報に掲載される予定である。

(井上 怜美)

<編集> 黒人研究会・編集部
〒603-8143 京都市北区小山上総町
大谷大学文学部・古川哲史研究室気付

<編集者> 井上 怜美